

千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議
平成29年度 総会・事例報告会

ヒト人工染色体の開発と 医学・薬学への応用

参加費無料 定員:100名(要事前参加登録)

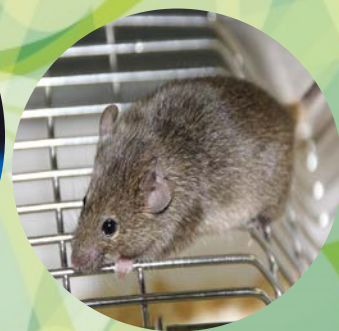
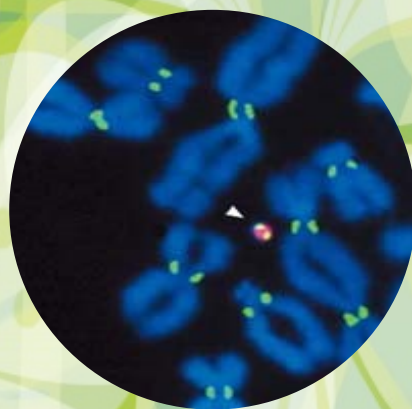
2017. 5. 19 (金)

(12:30 開場)

総 会 13:00~13:30

事例報告会 13:30~15:50

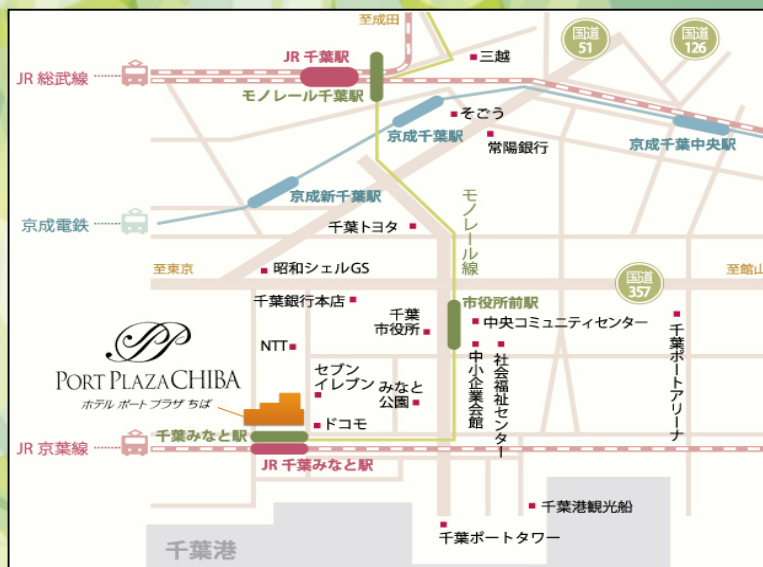
情報交換会 15:50~16:30



ホテルポートプラザちば
2階「ロイヤル」

(千葉市中央区千葉港8-5)

www.portplazachiba.com



申込方法

かずさDNA研究所ホームページよりお申込みください

事務局

(公財) かずさDNA研究所
企画管理部事業推進課

TEL.0438-52-3957/ FAX.0438-52-3901

申し込みURL: WWW.kazusa.or.jp/bio-network/

千葉県・公益財団法人かずさDNA研究所 共催

ヒト人工染色体の開発と医学・薬学への応用

ヒトゲノムの配列情報が明らかにされてから既に10年以上が過ぎ、個人のゲノム情報を医療に役立てるのも夢ではなくなりつつあります。また、ゲノム情報の膨大な知見を有効に活用することは、生命科学や医療のさらなる発展においても極めて重要な課題です。細胞中で安定に複製・分配・維持されるヒト人工染色体は、ゲノム編集（CRISPR/Cas9）や既存ウイルスベクターでは困難な巨大遺伝子や多数遺伝子を細胞へ導入するベクターとしても高い利用価値があります。ヒト人工染色体に搭載した遺伝子の発現を制御することで細胞のもつ多彩な機能を引き出し、これを遺伝子治療・再生医療や有用タンパク質の生産、あるいはモデル動物を用いた創薬へと利用する試みが行われています。これまでかずさDNA研究所は千葉県の支援を受け、人工染色体の研究を行ってきました。本会議では、ヒト人工染色体の技術開発から、これらを用いた医療・創薬を目指した応用研究、事業化など、かずさDNA研究所、鳥取大学、千葉大学の取り組みについて報告します。

プログラム

(敬称略)

【 開 場 】 12:30

【 総 会 】 13:00～13:30

(1)主催者挨拶

(2)報 告

①平成28年度事業報告・平成29年度事業方針
②その他

【 事例報告会 】 13:30～15:50

13:30～14:10

「ヒト・マウス人工染色体導入マウス及び細胞の構築と限らない応用の可能性」
鳥取大学 染色体工学研究センター
特任教授 押村 光雄

14:10～14:50

「ヒト人工染色体開発の基盤とクロマチン操作技術」
公益財団法人かずさDNA研究所 先端研究部 細胞工学研究室
室長 舛本 寛

14:50～15:10

休 憩

15:10～15:50

「人工染色体導入マウスを用いた創薬支援のための薬物動態研究」
千葉大学大学院薬学研究院 薬物学研究室
准教授 小林 カオル

15:50～16:30

情報交換会